

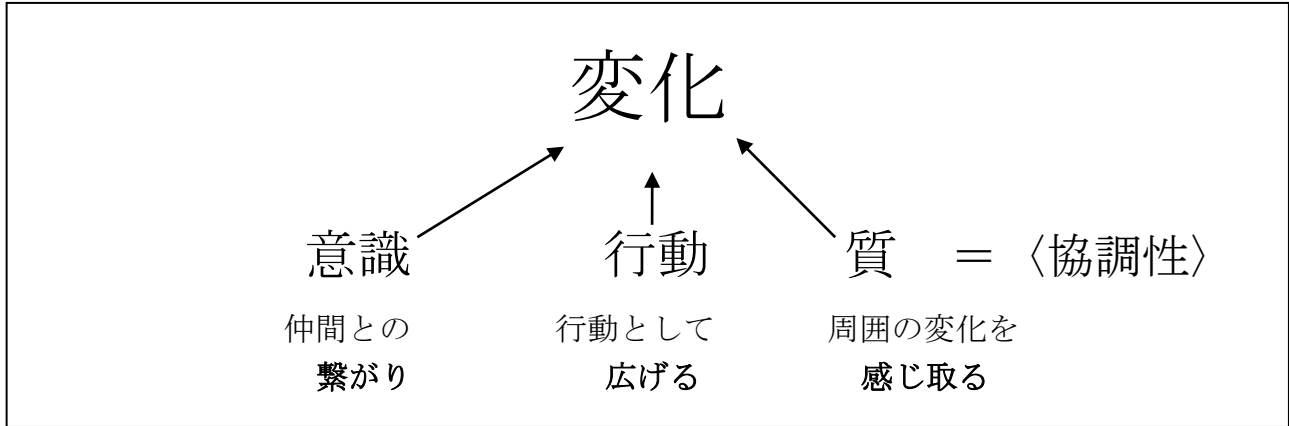
1 スローガン

変化 ～意識・行動・質～

《設定理由》

当初考えていた、灯火が繋がり広がっていくイメージを“変わる”と捉え、特に変化していきたい「意識」「行動」「質」に重点を置きました。

意識が変われば、行動に変化がみられ、ともなって結果としても、活動の質に大きな変化を感じることができると考えました。



2 重点目標と活動の柱

(1) 重点目標

重点目標は、関わりを深め“変化”をすることです。周囲の変化を感じ取る〈調性〉を一人ひとりが身につけることで、意識（物の見方）や行動に変化がおり、結果として仲間との関わりが深く協力し合えるよりよい十中を創ることができると考えました。

また、地域に置いても新たな関係を築いていき「誇れる十中を創る」を目標に、十中の変化を広げていきたいと考えています。

そこに大きくかかわる、〈協調性〉について、生徒会では次のように定義しました。

<協調性>

まず〈協調性〉とは、「周りの変化を感じ取り、仲間との関わりを深める」ということです。

仲間との関わりを深めるためには、十中生一人ひとりの周囲の変化を感じ取った気づき（（2）活動の柱＝①周りの変化を感じ取る力）が、実際の行動（（2）活動の柱＝②自分から変化を起こす力）において見えてくる（（2）活動の柱＝③変化を大事にする姿勢）と感じます。

例えば清掃において、自分の仕事が終わった後に周囲の状態に気づくことは「①周りの変化を感じ取る力」にあたります。もし、仲間が一人で清掃しているようであれば、率先して手伝いにいくことは「②自分から変化を起こす力」にあたります。その後、反省会にて自分に与えられた仕事に限らずに清掃することができたかを振り返り、次の清掃活動に活かすことは「③変化を大事にする姿勢」にあたります。

たとえ「きれいになった」という結果でも、一人ひとりが周りの気づきや行動を起こせなければ、本当にきれいになったとは言えないはずです。上に示したように自分の仕事に加えて、気づきを大切にした積極的な行動することで、仲間との関係が深まり、協力し合える変化が生まれるのではないのでしょうか。

(2) 活動の柱（様々な活動を通して、変化してほしいこと）

①周囲の変化を感じ取る力

これはスローガンの「質」に関係します。〈協調性〉を身につけることは、自身のことだけではなく、周囲の変化を感じ取った気づきが、自ら進んで行動するきっかけとなり、誰もが成長できる学校づくりに繋がると考えました。

……主な活動内容◇挨拶活動

②自分から変化を起こす力

これはスローガンの「意識」「行動」に関係します。専門委員会の常時活動によらず学校生活において、自分の行動が周囲へ“どう繋がっていくか”や“どう広がっていくか”を想像し、様々な活動を通して、意識と行動に変化を起こせるようになると考えました。

……主な活動内容◇委員会活動の実施

（合同活動、常時活動、強化週間、キャンペーン等）

③変化を大事にする姿勢

これはスローガンの「意識」「行動」に関係します。この二つに関しては、『誰かがしてくれるだろう』といった人任せになっている考えでは、変化することはできません。そのため、『自分から変わる』という意識で進んで行動することが、変化を大事にするうえで、仲間との関わりを深められる十中を創るために必要だと考えます。さらに、この変化が仲間に広がったり、仲間とつながりを持ったりする“きっかけ”になると考えました。

……主な活動内容◇委員会活動の充実 ◇ボランティア活動(発信含む)

(3) 活動の柱と「優しさと逞しさ」の関係

山形十中は、建学の理念である「愛と創造」を基にして、「優しさと逞しさ(たくましさ)」を学校の教育目標に入れ、大切にしてきました。

私たちが考えた3つの活動の柱を、「優しさと逞しさ」に照らし合わせると、①周囲の変化を感じ取る力と②自分から変化を起こす力は「優しさ」に、③変化を大事にする姿勢は「逞しさ」に関係していると思います。

- ①「周囲の変化を感じ取る力」は自身の事だけにとらわれず、周りを気にかけること。
- ②「自分から変化を起こす力」は繋がりを持つ周囲との関係を深めるため、行動に移す勇気のこと。
- ③「変化を大事にする姿勢」は自分と素直に向き合い、変化に対する考えを変化させていくこと。

①と②の力は、仲間への優しさを持つことに関わり、③の姿勢は、自分や仲間を成長(=変化)させるために変わる努力ができる逞しさを持つことに関わっています。

3 決まりの改正に向けての動きの報告

〈これまでの経緯〉

令和5年 校則に関する全校アンケート調査の実施

令和6年 生徒会総会において、「きまりの柱」作成
「安心」「安全」「安定」

- ・周囲のことを考えたきまり
- ・社会に出たときに生かせるきまり
- ・十中生全員が納得できる、きもちよく守れるルール

令和7年 現在、協議中

○約束の緩和や新たな「きまり」について、「はじめの一步」を参照
現段階では、「はじめの一步」に書かれていることが、十中のきまりとなり、総会での議決事項はありません。今後は生徒会規約に則り、きまりの検討を継続していきます。

令和2年度改定

『 守るあなたが守られる ゲーム・ネット版 』

※十中での「ネット」とは「ネットワークメディア」を意味し、SNS,ブログ,メール,掲示板,チャット,YouTubeなどの動画視聴が含まれる。

- ①午後10時以降は、ゲーム・ネットを使用しません。
- ②テスト前2週間は、個人目標を決め、取り組みます。

ゴールド	1日のネット・ゲーム使用0分
シルバー	1日のネット・ゲーム使用30分以内
ブロンズ	1日のネット・ゲーム使用1時間以内

※2週間のうち10回以上で、目標達成。

- ③アプリのダウンロードや個人情報登録は、保護者の許可を得ます。
- ④見た人が不快な思いをするようなことは書き込みません。
- ⑤各家庭でルールを作り、守ります。

「」